

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アプリキッズ桑名野田		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 20日		～ 7年 1月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数) 30
○従業者評価実施期間	2025年 1月 3日		～ 2025年 1月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	プログラムをしっかりと組み療育に努めています。 充実した内容を提供しています。	療育内容の充実。いろんな経験をしてもらい経験値をあげていく工夫をしています。 大変だからこそやることに意味があると思います。	目的をさらに細分化して療育を定期的に行えるようにしていきます。 新しい発想を取り入れていく為に見学や勉強会など積極的に情報収集を行い提供をしていきます。
2	障がいについての学習を定期的に行い職員の知識向上に努めています。	月1回の研修時に障害についての学習を取り入れていきます。その際に職員の成功体験を共有しています	長として勉強会や情報収集を行い知識向上に努めていきたいと思っています。 職員の情報交換出来る時間の増加も考えています。
3	支援方法にバラつきが出ないように職員の情報を共有しています。	支援方法が違おうと児童の成長にバラつきがある為、支援の方向性と方法を同じにしています。	声かけが大切です。仕事に対する姿勢から伝えていけるように教育をしていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	人員不足があり受け入れる人数を制限することがある	出来る範囲の療育提供は、出来ていますが上を目指しているので改善していきたい	人員確保が必須
2	障害の特性ごとに接し方をかえていくことが全職員の実施が困難。	学習時間は、ありますがONJOBで教える時間が少ない為課題としては、残ります。	その日のうちに改善点などを話し合える時間を作れると良くなると思います。
3	保護者との話す機会が少ない。 送迎の際の少しの時間しか会話の時間がない。送迎の途中で長話等が出来ない等の理由により。	特になし	定期的な面談の実施、電話でのコミュニケーションが取れるような体制を設けています。 ご家族様との会話は大切ですが伝える内容や伝え方も含め全職員への教育が必要です。